



栄地区老人クラブ 養殖ゴイを水揚げ

栄地区老人クラブ(小坂保雄会長・会員150人)では、11月5日、この春以来「滝の沢堤」で養殖していたコイの水揚げを行いました。5月に放流した10~15斤の稚魚3千匹は、これまでの手厚い養殖で、いずれも40斤、1.2mほどに成長。クラブ員が堤に巻網をかけ、網を絞り込むと、成長したコイが水面に姿をみせ、老人たちの顔をほころばせていました。

人口と世帯数

(住民基本台帳による)

10月31日現在	(前月比)
総人口 25,542人	(1人減)
男 12,494人	(6人減)
女 13,048人	(5人増)
世帯数 7,130世帯	(5世帯増)

黒沢峠 道路改良工事

自衛隊の応援で難所を解消

今月いっぱい完成

自衛隊秋田駐とん部隊の応援を得て行われていた町道坊沢・前山線の難所、黒沢峠四百メートルの切り下げ掘削工事は、予定どおり順調に進み、十一月七日に自衛隊から工事の引渡しが行われました。また、これと併行して施行している「黒沢峠道路改良工事」八百メートル、十一月いっぱい完成の見込みです。

町道坊沢・前山線は、坊沢を起
に至る延長六千九百メートル。このうち
馬屋沢、黒沢間の一千四百メートルは掘



頂上で4メートル切り下げた黒沢峠

幅改良し、舗装も完了したほか、昨年は坊沢から黒沢峠までの一千五百メートルを幅員五メートルで拡幅改良しております。

今年度は、昨年の改良に引き続き約八百メートルの改良工事を予定しましたが、この区間の最大難所となっていた黒沢峠約四百メートルが急勾配で、頂上で最大四メートルの切り下げが必要なことから、町では機動力のある自衛隊に応援を要請、実現をみたものです。

支援要請に応えたのは陸上自衛隊東北方面第三一〇地区施設隊(秋田)で、去る八月二日の起工式後、二十三人の隊員が今泉の七座体育館に滞在し、ブルドーザー三台、ショベル一台で作業を進めていたものです。

自衛隊が掘削した土量は五万六千四百立方メートル。これを町の二業者が残土処理するとともに、八百メートルにわたり幅員五メートルに拡幅、法届仕上げ、張芝などの改良を行い完成となります。

自衛隊の機動力を駆使した応援で、工事はすこぶる順調に進み、峠の急勾配と急カーブは一変、今年度分の改良工事八百メートルは、十一月

月いっぱい完成の見込みです。十一月七日、黒沢峠の現場で行われた掘削工事引渡し式で、出川町長は、自衛隊作業班に感謝状と記念品を贈り、その労をねぎらいました。

なお、町道坊沢・前山線は、最大の難所であった黒沢峠の解消で同線の未改良部分は二千六百メートルとなり、この部分の改良は五十八年度までの三カ年で完成、舗装も五十九年度までには完了の見込みです。



- ▼工事名 坊沢分館増築工事
工事場所 坊沢字善千鳥坂 ▼請負額 八百五十万円 ▼請負者 貝塚建設 貝塚利一郎 ▼工事期限 十二月二十五日
- ▼工事名 舗装新設工事(葛黒線)
百三十メートル ▼工事場所 葛黒地内 ▼請負額 百三十四万円 ▼請負者 花岡土建 鈴木三五郎 ▼工事期限 十二月二十九日
- ▼工事名 中央公園整備工事(園路舗装) 四百八十四・八メートル ▼請負額 二千九百万円 ▼請負者 佐藤建設 佐藤清治 ▼工事期限 五十六年三月二十五日
- ▼工事名 道路改良工事(太田、糠沢線) 三百五十九・五メートル ▼工事場所 栄字太田屋敷後 ▼請負額 一千三百万円 ▼請負者 津谷組 津谷栄七 ▼工事期限 五十六年三月十四日

町長 日誌

10月16日	10月31日
16日	各農協組合長との懇談会
18日	鷹巣阿仁広域圏組合管理者会議 合川町
19日	自衛隊創立三十周年記念式典 秋田市
22日	八郎潟町との交歓テニス大会 八郎潟町
24日	秋田県林業協会創立三十周年記念式典 秋田市
25日	鹿角・北秋田郡町村職員バレーボール大会
28日	秋田さきがけ政経懇話会都市計画道路の打ち合わせ 秋田市
29日	新潟県土地改良事業団連合会中東蒲原支部、宮城県互理町監査委員視察 住居表示特別委員会 竣工式
30日	県スポーツ振興審議会 秋田市
31日	地域整備公団視察 社会福祉協議会理事會 県北地区交通安全協会連合会総会
21日	25日 総務常任委員会研修 視察 三重県尾鷲市
22日	獣魂祭
29日	住居表示特別委員会
31日	県北地区交通安全協会連合会総会

議会 日誌

国勢調査結果まとめ

町の人口25,065人

前回より323人増加

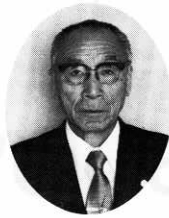
十月一日現在で実施しました国勢調査の結果がまとまりましたが、新町発足（昭和三十年）以来、国勢調査ごとに減少が続けていました。町の人口は、今回始めて前回（五十年）の調査時点を上回りました。

十月一日現在の町の人口は、男一万二千百十四人、女二万二千九百五十一人、計三万五千六百五十九人。これは前回に比べて男百八十五人、女百三十八人、計三百二十三人多く、一・三％の増加率でした。

ちなみに、わが町の国勢調査時点の人口をふり返ってみますと、昭和三十五年が二万七千二百四十八人、四十年は二万六千二百四十四人で九百九十六人の減、四十五年は二万五千三百九十人で八百五十四人の減、五十年は二万四千七

百四十二人で六百四十八人の減となっていました。今回始めて三百二十三人の増となったものです。地区別では、前野団地、あけぼの町などの宅地化で、綴子四百七十八人、栄二百五十三人と大幅に伸びたほか、沢口、坊沢でも増加。反面、鷹巣の三百九十人を筆頭に七日市と七座で減少しております。一方世帯数は、六千九百九十二世帯で、五十年に比べると三百二十四世帯増加しております。減少した地区は鷹巣の四十世帯と七日市の二十九世帯。ほかはそれぞれ増加しております。

この結果、当町の一世帯当りの平均人員は三・五八人と、調査ごとに少家族化の傾向を示しています。



勲五等双光旭日章 渡辺勝蔵氏

教育功勞で叙勲

政府は、文化の日の十一月三日付けて秋の生存者叙勲を発表しましたが、当町の綴子字田中、渡辺勝蔵氏（73）が、教育功勞で勲五等双光旭日章を授賞。十一日正午から東京都千代田区の国立劇場で田中竜夫文部大臣から伝達を受け、引き続き、皇居宮殿で天皇陛下の拜謁がありました。

渡辺さんは、昭和六年に秋田師範卒、青年教師時代は大館市、北秋田郡内の小学校訓導。戦後は二井田中学校長、釈迦内小学校長、鷹巣中学校長として、職員員の指導のかたわら、一貫して人間性豊かな児童生徒の育成をめざして特色ある学校経営にあたられました。この間、二度にわたって県教育

庁北教育事務所勤務し、教育係長、副所長を歴任しております。昭和三十九年三月、鷹巣中学校長を最後に退職、同年四月に町の教育委員、公民館長。同十月に教育長に就任、四十九年六月までの十年間、学校統合と校舎の新築、二つの給食センターの建築と完全給食の実施等、当町の教育振興のため尽力しました。

また、教育長在任中は、鷹巣阿仁教育事務協議会事務局長、合川高校組合教育委員会委員長、県生涯教育推進協議会委員などを兼務、四十九年には県教育功勞章を授賞しております。

現在は、町の青少年問題協議会委員、文化財審議会委員、心配ごと相談員を務めております。

町営住宅の入居者を募集

昭和五十五年建設の町営住宅（南鷹巣）へ入居を希望される方は次のことをごらをお含みのうえ応募ください。

▽公募戸数

二十四戸のうち
簡二（ブロック造） 十五戸
木造平家建 五戸

▽住宅使用料

簡二（ブロック造） 二三、〇〇〇円
木造平家建 二三、〇〇〇円

▽申し込み資格

- 1 鷹巣町に居住もしくは勤務先を有し住宅の困窮者であること。
- 2 現に同居しまたは同居しようとする親族のある方（婚約者を含む）
- 3 同居親族の過去一年間の所得金額から扶養親族一人につき二四〇、〇〇〇円を控除した額を十二で除した額が五五、〇〇〇円以下であること。
- 4 六十五歳以上の夫婦もしくは六十五歳以上の単身者であること。
- 5 身体障害者福祉法施行規則の一級〜四級までの該当者であること。

ただし、木造平家建住宅の申し込みについては、4、5に該当するものを優先とする。

▽申し込み受け期間

昭和五十五年十一月十五日から昭和五十五年十一月二十二日まで

▽申し込み場所

鷹巣町役場建設課計画係（入居申込書は計画係で交付してあります）

▽入居者抽選の日時と場所

昭和五十五年十一月二十五日午後一時 役場三階大会議室

▽入居可能予定時期

昭和五十五年十二月一日の予定

▽その他

1 以前に町営住宅入居申込書を提出しまだ入居許可にならない方が今回の住宅に入居を希望される方も改めて申込書を提出して下さい。

2 申し込みについて不明な点は係へお問い合わせください。

昭和五十五年十一月十五日

鷹巣町長 出川 禮一

特集



は幸せな暮らしの“後ろ盾”



あなたの生活を守る「法律」

法まもる心が築くよい社会——法律は、わたしたちが日常の社会生活を秩序正しく営んでいくためになくてはならないものです。同時に、安全で幸せな生活を実現していくための「後ろ盾」になつてくれるのも法律です。そのためには、まず法律をよく知ることが大切です。そこで、今回は、先の国会で一部改正された「民法」の主な改正点と、わたしたちの暮らしに「関係の深い「法律扶助制度」と「弁済供託制度」のあらましをご紹介します。

民法の改正

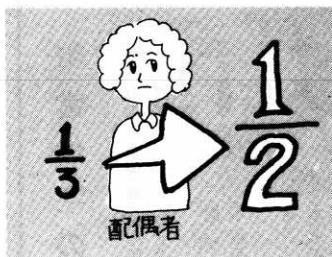
昭和五十六年

一月一日から施行

遺産を子供とともに相続する場合、配偶者の相続分が三分の二から二分の一に引き上げられるなど、「民法及び家事審判法」の一部が五月九日に改正され、昭和五十六年一月一日から適用されますが、わたしたちの暮らしに關係の深い主な改正点についてご紹介します。

配偶者の相続分が引き上げられました

配偶者の相続分が、子とともに相続するときは、遺産の二分の一（今までは三分の一）、被相続人（死亡した人）の直系尊属（両親）とともに相続するときは三分の二（同二分の一）、被相続人の兄弟姉妹とともに相続するときは四分の三（同三分の二）に、それぞれ引き上げられました。（民法第九〇〇条）。



同時に、配偶者に対する相続税についても、その相続額が遺産の二分の一以下（今までは三分の一以下）または四千万円以下の場合には、課税されないことになりました。（相続税法第一九条の二）。

遺産の分割を適正にするため「寄与分制度」が新しく設けられました



寄与分制度とは、亡くなった人の財産を維持したり増やしたりするのにも努力した相続人に対し、その分を「苦労賃」として上積みして相続させることを認めようとするものです。

例えば、農家や商店などで、長年、父を助けて家業を続けてきた息子が、父の遺産を相続する場合寄与分制度が適用されます。

寄与分の額は、相続人全員の話し合いで定めることになっていますが、折り合いがつかないときは寄与した相続人の請求（申立て）

によって、家庭裁判所が寄与分を定めます。(民法第九〇四条の二)。

兄弟姉妹の代襲相続に制度が設けられました

これまでは、代襲相続人(相続人が死亡などによって相続することができなくなった場合、代わりに相続する人)の範囲が決まられていませんでした。これが、今回の改正によって、被相続人の兄弟姉妹が相続人である場合の代襲相続人は、兄弟姉妹の子(被相続人のおい、めい)に制限されることになりました。(民法第九〇一条第2項)。

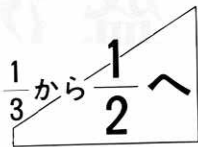


「遺留分」が引き上げられました

「遺留分」とは、相続人が取得することを認められる最低限度の財産のことです。

これまで、遺留分は、直系卑属(子や孫)のみが相続人の場合、及び直系卑属と配偶者が相続人の場合は相続財産の二分の一、その他の場合は相続財産の三分の一と定められていました。今回の改正では、このうち「相続財産の三分の一」とされている

遺留分も



「その他の場合」の中で、①配偶者のみが相続人のとき ②配偶者及び直系尊属が相続人のとき、または③配偶者及び兄弟姉妹が相続人のときの遺留分が、相続財産の二分の一に引き上げられました。これは、配偶者の相続分が引き上げられたことに伴い、遺留分についても、相続人中に配偶者が含まれる場合は、すべて二分の一に引き上げられたものです(民法第一〇二八条)。

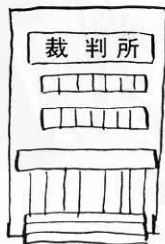
裁判費用を立て替えてくれる

法律

扶助制度

日本国憲法は「すべて国民は、法の下に平等であつて、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において差別されない」(第一四条第一項)。「何人も、裁判所において裁判を受ける権利を奪われない」(第三二条)と、法の下に平等と裁判を受ける権利を保障しています。

法律扶助制度バンザイ



しかし、裁判に必要な費用がなくて裁判を起こすことができない場合は、この権利も生かせません。「法律扶助制度」は、このような、権利の泣き寝入りを防ぐために、裁判で勝てる見込みがありながら裁判費用がだせない人に、訴訟・弁護士費用などを立て替えるものです。

立替金は、後日償還することに

借地料や家賃支払のトラブルを防ぐ

弁済

供託制度

他人から土地や建物を賃借している借地(借家)人は、賃貸借契約で決められた賃料を地(家)主に支払う義務があります。

賃料を支払わないと、「債務不履行」(金銭を払ったり物を渡したりしなくてはならない法律上の義務がなされないこと)となり、借地(借家)人は遅延損害金の支払義務を負うとともに、地(家)主

によって賃貸借契約が解除される原因にもなります。

ですから、借地(借家)人が、こうした事態になることを避けるためには、①契約で定められた場所②定められた額の賃料を支払日③定められた額の賃料を支払わなければならない

しかし、借地(借家)人が賃料を支払おうとしても、自分の責任でない事情で支払いができない場合があります。

例えば、地(家)主が賃料の値上げを主張して、それまでの額の賃料を受け取らない場合や、地(家)主が死亡してその相続人がだれかわからず、支払先がはっきりしない場合などがそれです。このような場合、借地(借家)

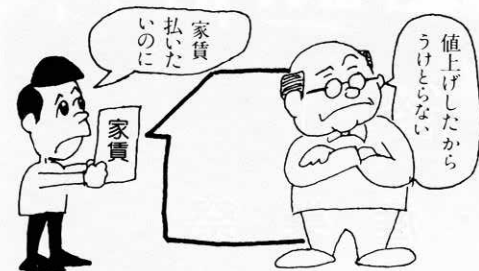
なりますが、資力がない場合には分割償還、償還猶与、償還免除などを受けることもできます。この法律扶助制度は、交通事故による損害賠償請求や借地・借家の争いから離婚請求にいたるまで、あらゆる民事上のトラブルに適用されます。詳しいことは、法務局大館支局の人権相談窓口でご相談ください。

人は支払義務を果たすことができず、不都合な状態に陥ります。

そこで、このような借地(借家)人の立場を守り、賃料の支払いをめぐるトラブルを防ぐために設けられているのが、弁済供託制度です。

これは、借地(借家)人が、国の機関である「供託所」に賃料を預けることによって、実際に地(家)主に支払いをしたのと同じ法律上の効果を得ることができるよう

弁済供託制度は、地代、家賃の支払いだけでなく、借入金返済などの場合にも利用できます。詳しいことは、賃料の支払地の供託所(秋田地方務局大館支局)の窓口でおたずねください。





盛況のうちに終了

文化祭・産業祭

一日から開催された第十二回文化祭と第一回産業祭は、盛況のうちに三日間の幕を閉じました。

初の試みである産業祭は、会場の鷹巣体育館いっばいに地場産業の木材製品、農産物、菓子類、縫製、民芸品などが陳列され、その多様性、技術のすばらしさは目をみはるものがありました。

期間中は、冷たい雨が降る天候が続きましたが、二日目の四千二百人を最高に三日間で一万余人の出入を記録しました。



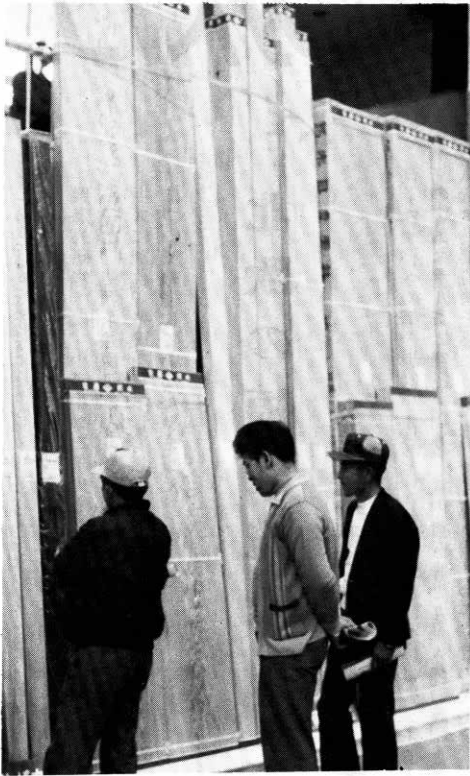
好評を博した公民館、体育館間
運行の無料バス



定期講座生の作品



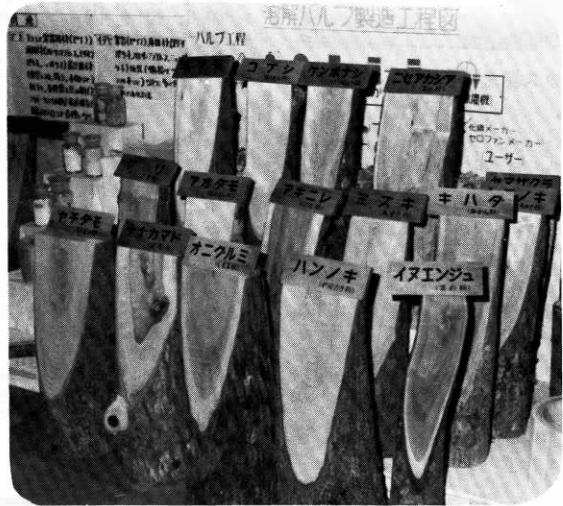
900年前を再現する胡桃館遺跡の模型



関心を呼んだ住宅建材



木工業者が競って出品の力作



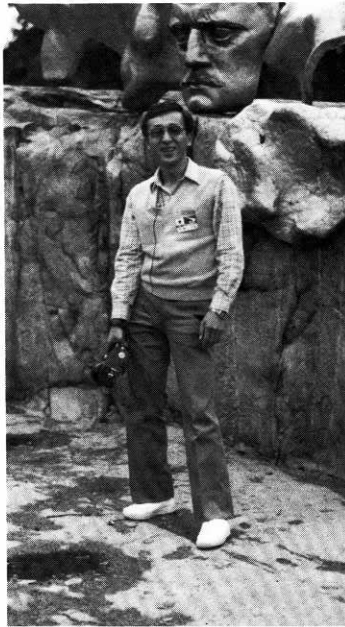
広葉樹原木の標本



さまざまな出品物が並ぶ産業祭会場

秋田県海外研修報告

ヨーロッパ旅行



シベリウス記念公園で(ヘルシンキ)

十月一日から二週間にわたってヨーロッパ各地を回る「秋田県海外研修」に、小森中林三千夫さん(27)、米代町中島一義さん(39)、坊沢永井悦子さん(45)の三人が参加、それぞれのコースに別れ、各地を見学し、無事帰町しましたので、その概況について報告していただきました。

北欧の福祉施設

小森 中林 三千夫

ヨーロッパへの第一歩は、オランダのアムステルダム空港。周りの風景に異国情緒を感じ、最初の訪問国フィンランドのヘルシンキ市に向う途中、スカンジナビアの広大な自然に囲まれた街並に、目をうばわれました。

(ヘルシンキの子供の城(精薄児と心理治療施設)は、市内でも緑の多い所で、既存の建物を利用して、十六年前に社会的に復帰できない子供達専用の病院として百七十のベットを作り、一般の病院にない施設として、ヘルシンキ市が運営をはじめました。

子供達の診察には、二十五人の内科医師と九十人の看護婦とその他百余りの各分野の先生が、色々な角度から診察を行い、治療方法を見つけ、精神患者は一年、身体患者は三カ月の診察、治療を受けただけで退院できるそうです。後で「家庭においての治療が、子供達にとって一番大切な事です。」と施設の先生の説明を聞いて、子供

の城が、日本の施設と異い、収容施設ではなく、子供と家庭にアトバイスする役割をしているところだと知りました。

つぎに訪問した託児所では、七十五人の子供(三歳から六歳)達の中に、八人の情緒不安定の子供と一緒に保育していました。

子供達は、四クラスに別れ、室内運動場、工作室、室内砂場、学習室、野外広場で自由に遊び、年二回のバス遠足と、一カ月に数回の社会見学で、生の社会勉強をしています。保育時間は、四時間から五時間ですが、家庭の事情によつては、最高十時間の保育を受けることができるそうです。

ヘルシンキの保育所



社会福祉の充実している北ヨーロッパの中で、ヘルシンキ市郊外のタピオラは、一九五一年に二百七十haの広大な農地と森林地帯を利用して、日本と言う振興住宅地と商工業地帯を建設した人工都市ですが、日本の住宅地のように、周りが家に囲まれた所はなく、四方が木立ちに囲まれた家が立ち並んでいます。

今では、保育所、学校、病院、ホテルなど建てられて、人口は一万六千人を超えて、職種は六千種に及ぶほどになっており、世界に誇る庭園都市でした。

スウェーデンの訪問先は、老人ホテルとEKA(イケア)インテリアセンターに分かれ、私達のグループはイケアインテリアセンターを訪ねました。

センターはストックホルム市郊外にあり、木工製品のスーパーマーケットで、世界に十三軒、スウェーデン国内に七軒の支店を持つ大きな会社で、店内にはスウェーデンの製品を始め北欧各国の木工製品が沢山あり、色々なデザインを組み立式家具がありました。

北欧の人々は室内装飾に凝っているで、一つの家具を色々な組み立て、部屋のふんいき作りをしています。

もう一つのグループが訪問した老人ホテルも郊外にあり、自然環境はもちろん、建物の外装、内装は、一般のホテル以上に豪華で、近代的な施設に入居している老人達は、自分の仕事(技術、趣味)を持って自由な生活を送っているそうです。

西ドイツでは、各地に青少年施設が建てられて、多くの青少年がいつでも気軽に利用することができる(オーブンドアハウス)施設でした。

ハノーバー市、ミュンヘン市、ボン市と、三カ所の青少年施設を見学しましたが、どの施設でも、集まった青少年は、デイスコ、スポーツ、ゲーム、パーティーなどを楽しんでいました。ドイツの青少年ほとんどが、施設を利用して見ることか、街の中で遊ぶ青少年を見ることはありませんでした。

この研修を通して、北欧諸国の国民ひとりひとりに、北歐諸国の福祉を作り上げてきた歴史を感じました。

結核二次検診日程表

Table with columns: 月日 (Date), 会場 (Venue), 時間 (Time), 対象地区 (Target Area). Rows list various dates from Nov 17 to Nov 27 and corresponding venues and areas.

まだ受診していない方は、必ず受けましょう!!

年度の健康優良児に、鷹巣小学校



成績優秀・スポーツ万能 藤木正文君 (鷹巣) 県の健康優良児に

六年藤木正文君(舟見町)が選ばれました。県の健康優良児は、小学六年生を対象に、各学校から推薦された児童を、各地区ごとに医師が審査...

運動能力測定、面接の総合審査が行われましたが、藤木君は各種目に抜群の成績を納め、同校では昨年の武藤祐美子さんに次いで連続二人目の健康優良児に選ばれたものです。

Table with columns: 西暦 (Western Calendar), 年号 (Year), 代 (Generation). Rows show dates from 1833 to 1839 and corresponding year numbers and generations.

郷土史年表

郷土史年表 (19) 西暦 1833 年号 天保 四 代 一八三四 一八三五 一八三六 一八三七 一八三八 一八三九 事 項 ○大飢饉あり、坊沢本村に八百八十二人の餓死者あり、家数 百五十一戸が絶家し、戸数百四十一戸に減少する。 ○七日市、岩脇、横瀨、品類、中屋敷では二百七十五人が餓死す。米一升正月百文、二月百五十文、三月二百文、七月から段々下がる。 ○福沢論吉生まれる。 ○煎煎 成田秋斎、米倉を開き飢饉に米をくばる(鷹巣) ○煎煎 成田秋斎、長百姓 成田重右衛門、与惣左衛門、郷備米に努める。 ○兵左衛門 功勞により御賞与拜領。 ○九月一日 太田新田村 伊右衛門 羽織御免の御賞をうける(栄) ○井伊直弼 大老となる。 ○郡方吟味役 小貫東七郎 鷹巣村 重右衛門宅にて 藩財政窮乏につき、御用金仰付けられ、太田新田村 伊右衛門調銭七十貫文献上す。 ○郡方吟味役 綴子村止宿の際 献納米仰付けられ、太田新田村 伊右衛門 米三十石 寄付す。 ○御巡見使黒田五左衛門、中根伝七郎 岡田右近の三人下向、綴子村にて御登小休、大館へ通行、伊右衛門御寺世話役見届役勤める。(栄) ○文化二年より、天保八年まで御備米倉庫九口建てる。(鷹巣) ○一月二十三日 摩当村三之丞一戸焼失す。(栄)

(次号につづく)

交歓で盛りあがった 学習意欲

公民館・学習発表会



公民館主催の第四回学習者発表交流会は、十月三十日午後六時から、同館ホールで開催された。現在、公民館での学級は五十八(約千二百人)、講座は十七(約百五十人)である。他に自主グループ、三十団体がある。当日の参加者は約二百人で、交歓により、学習への意欲が一段と高まったようである。

PTAと公民館活動

藤小 PTA 原田 雄彦

PTAは子供のためにある、というが、子供のことを考えるならばまず親が成長しなければいけな

い。親の質を高めることをねがって、公民館とタイアップして文化部の事業を行ってきた。夏休みにサマースクールとして、青森県市浦町の十三湖で、土地のPTAとの交流会は感動的なものであった。教育は単なる知識でなく、親子に「生き方」を語り、実際に見せることである。そして地域に輪を拡めるためには、公民館との連携いはまことに大切である。

若妻学級を結成して

高村岱 土田 昭子

高村岱の自治会は、鉢巻山から中央小学校までと地域は広く、歴史も浅いことから人々の横のつながりが十分でない。そのためにこ

そ仲間づくりの必要を感じ、七月から学級を結成し学習している。今のところ九名で、料理・生花・家族計画など勉強したが、みんなに喜ばれている。

地づくりをめざして

仲町婦人学級 畠山 昭子

昨年九月から発足、二十三歳から六十五歳までの二十五名のメンバーである。中央保育園を借り、毎月第二金曜の午後七時半から九時まで学習している。よかったことは、

- ▽ 時間の使い方がよくなった。
- ▽ 家庭の和がよくなった。
- ▽ 環境衛生に注意するようになった。

▽ 地域の人々が声をかけ合うようになった。
今後は議会傍聴などして町政にも目を向けるようにしたい。また町内会ができることをねがっている。

多彩な演示発表

実践発表の後は、演示及び交流パーティーに移った。
1、「夕やけこやけ」他、尺八講座 2、「津軽ジョンカラ節」他、民舞教室 3、「香に迷う」他、日舞教室 4、「富士山」他、詩吟教室 5、「合川音頭」他、堂ヶ谷若妻 6、「こんには赤ちゃん」他、マンドリン教室 7、「おやじの海」創作舞踊、田中若妻あゆみの会 8、「涙声」他、仲町婦人学級。

部落訪問



湯の岱

十一月二日(日)、文化祭行事の最中であつたが、比内公民館への用事もあつたので、途中の湯の岱部落を訪れることにした。小森から比内に通ずる短絡線は道幅が広くて気持がよい。山の紅葉は灰色をおび、車は右手に四渡、坊山の集落を見て快走する。役場から約十四軒、町営の「湯の岱温泉」がある。

(公民館長 長崎 久)

浅利氏の本拠である比内と小猿部地方を結ぶ重要絡線であつた小森沢で最も狭いこの地には関所があつたともいわれている。部落の名が示すように、昔、温泉が湧き、村人の疲れをいやす場所となつていたが、大滝温泉の開発で湯脈が切れたともいわれている。(中央小百年史)。

また、近くの君ヶ沢からは金が、伯父ヶ沢から鉛が堀り出された時代もある。

ここの人々は、平均一haの水田耕作と、山の仕事と、町へ出での手間とりをしている。まもなく、この短絡線工事が完了するが、そうなると、大館、鹿角方面への往来が激しくなり、更に拡幅しなければならぬだろうとの話が出ていると高橋さんは語っていた。



みんなの広場



あ か そ

道ばたに普通。葉と茎が若いときは、晩に首をかしげるように眠る。

(理科センター・阿部達雄先生)

感動を短歌に求めて

今日より明日へ



伊勢町 石川 多吉郎(55)

若いソフトにふる雪は
過ぎしその手か、ささやきか、
酒か、薄荷か、いつのまに
消ゆる 涙か、なつかしや。
北原白秋の作品に魅せられて、
白秋の多磨短歌会に入会したのは
昭和十八年頃と思われます。青春

のひとかけらもない灰色の時代であつたが、その後も歌ごころを忘れさせてくれなかつたことはよき先輩や、多くの友人の温かい支えがあつたことも確かです。
一日を終えてくつろぐとき、これでもいいかと自問することは誰にでもあると思いますが、例え一時間でもいい、自分を考へてみる時間、そして生きる感動を——こうした仲間が短歌に求めて始めた潮音歌会ももう十年になります。月一回の会合は待ちどおしいという会員もおりますが、作品を通じてお互いの個性を尊重しながら、誰にも気兼ねせず伸び伸びとした歌評はこの上もない楽しみのひとつ、このさすなは生涯ともほぐることはないと自負しています。

広報のしおり

十五日は七五三のお祝い。つまり三歳と五歳と七歳になったお子さんのお祝いで、生後発育を心

「短歌を始めませんか」と言う
と、「老後に暇ができてから」という言葉がよく返ってきますが、時間は自分でつくり出すもの、老化学現象防止の一助のためにも作歌を大いにおすすめします。

「君は香いを鼻で嗅いでいるのか、香いは耳で聞き、皮膚で聞き、心頭で風味すべきもののなを」
通勤列車の窓から山を隔てた暮色を眺めていると、在りし日の白秋の言葉が明日へのために生き生きとよみがえってきます。

「香いはほろびない、花は終つても香いはのこる、始めもなく終りもない、消えるように見えるのは、色眼のみでみる人の錯覚である。香いは染みこみ分解する」……



ぼくのおじいさん

ぼくのおじいさんは、コンパインで手をきって、もりおかびよういんに入いんしています。
びよういんに手をきった日のばんにいてみたら、おじいさんが目になみだをためて、「心ばいかけてごめん」といっていました。



南小学校 2年 喜 経
久留島

右手のひじの上からもけてしまったので、その手をはかにうめて左の手ではしをもつてたべています。

配された子どもが、よくこれまで育つてくれたと思う親心と、今後どうするか、丈夫でいい子になってくれるようにと願う気持ち、江戸時代から伝えられたものです。
一般的には、男の子は三歳と五歳、女の子は三歳と七歳になったとき、成長を祝う行事で、それぞれ氏神さまにお参りするのが通例

ですが、歴史的には、三歳になると着物の付けひもとって帯をしめる女兒の儀式。五歳になると男児が初めて袴(はかま)をつける「袴着」の儀式。そして七歳になると男女とも幼児期の終わりをし、重要視され「紐直(ひもなおし)」の儀として祝福されました。

たかの寸文芸

＝ 詩 ＝

かすかないのち

米代町 菊地 みどり

無数のまつ毛を散りばめたように
わたしの心の砂漠に生まれた金魚の子
広い宇宙に息づく微細な人のいのちと
細い糸でつながるかすかないのち
金魚の子の死に絶えた日に
わたしは悲しみの淵に沈んだ
やさしい朝
再び生まれた小さな金魚たち
かすかに揺れては
水槽にへばりついて わたしをくすぐる
太陽にぬるんだ水に
生きたミジンコを放してあげよう
雨の降る日も 風の日も
ミジンコを追いかけて
餌にアタックする
真紅の太陽が空を染めた日に
三センチくらいになったからだを
夕焼けに染めはじめた

おしらせ



一線美術会会員 九島繁二氏

予防接種

生後二十四カ月から四十八カ月までの出生者を対象に、百日せき、ジフテリア、破傷風の三種混合ワクチンの予防接種を行います。接種日は、鷹巣地区以外の方は二十六日、鷹巣地区の方は二十七日。

十一月の健康相談

成人健康相談は、二十六日です。時間は、午前九時から午後三時

まで。血圧測定のほか、必要に応じて尿検査も行います。

妊婦健康相談

妊婦健康相談は、十七日です。時間は、午前九時から午後三時まで。おいでの時は母子手帳を忘れずにお持ちください。

また、今月の母親学級は、母乳栄養と妊娠中期の注意について。時間は、午前十時半から十一時半まで。

＊場所は、いずれも鷹巣公民館保健相談室です。

離乳食実習指導

離乳食実習指導は、二十日、二十五日、四月生まれとなっています。時間は、午前九時半から。乳児健康相談も併せて行いますので、お子さんもお連れください。

乳児健康相談

乳児健康相談は、二十日、二十五日、七月生まれとなっています。受付時間は、午後零時半から一時半まで。

＊場所は、いずれも鷹巣保健所で

全県家庭婦人バレーボール大会

16日・34チームが参加

第十一回全県家庭婦人バレーボール大会(九人制)は、十一月十六日午前九時から鷹巣体育館、それに鷹小、鷹中の両体育館の三会場に三十四チームが参加して行われます。

競技方法は、レベルにより一部、二部(A・B)、三部(A・B)、

の五つに分け、各トーナメント戦で行われます。

参加資格

参加資格は、十六日現在、満二十五歳以上の既婚家庭婦人で構成されたチームとなっており、当町からは一部に愛好会、二部にレインボー、三部にレディスクラブの三チームが出場することになっており、活躍が期待されます。

住民福祉講座

鷹巣町社会福祉協議会では、地域の福祉について、関心を高めることを目的に住民福祉講座を開催いたします。

●とき 11月21日・22日 午前10時～午後3時30分

●ところ 鷹巣公民館

●内容 なたでも気軽に参加できます。くわしいお問い合わせは、社会福祉協議会(電話二一一一一)へ。

講座内容は、▽日本赤十字社家庭看護教師による「老人看護法」の講習 △スライド上映 △ボランティア活動の事例発表・体験学習 ；などです。

身障者の職業

訓練生入校案内

国立宮城身体障害者職業訓練校(仙台市台原五丁目十五)では、電子機器科、洋裁科、洋服科、和裁科、製版印刷科、軽印刷科、製くつ科、義肢装具科、経理事務科、理容科、デザイン科、製木科

の訓練生を募集しております。

訓練期間は一カ年(五十六年四月入校)です。入校希望者は、十一月二十日まで大館公立職業安定所鷹巣出張所にお問い合わせを。

ミステリー列車 鷹巣町民号を運行

秋田鉄道管理局では、鷹巣駅開設八十周年を記念して、鷹巣町民号(ミステリー)(行先不明列車)80を十二月二十・二十一日の一泊二日の日程で運行することになり、その参加者を募集しております。

参加費は、一人一万四千九百円で、出発から帰着までの交通費、宿泊費、食事などすべての費用が含まれています。

申し込み、およびくわしいことは鷹巣駅(電話二一一一五八)におたずねください。

香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

ご芳志に深く感謝いたします。

▽大町 沢口晃さんから亡母元さんの香典返し

一〇〇、〇〇〇円

▽太田 成田研作さんから亡父磯治さんの香典返し

三〇、〇〇〇円

▽相善町 戸島重光さんから亡父徳一さんの香典返し

三〇、〇〇〇円

慶弔だより

10月16日～10月31日

誕生おめでとうございませう

- 永井美奈子(秀夫 長女) 羽立
- 高橋 貴子(政芳 長女) 綴子上町
- 三上 桂(純治 長女) 太平町
- 籾内 和博(隆男 長男) 糠沢
- 長崎かおり(秀道 長女) 新屋敷町
- 成田 花湖(豊人 二女) 末広町
- 小笠原有美善男 長女 綴子大畑
- 対馬 寿秋(只夫 長男) 三吉町

二人の前途を祝福いたします

- 細田 芳男 前野
- 田村 恵美子 下大沢
- 中島 綱夫 川口
- 片岡 京子 田代町
- 近藤 政典 東仲通
- 山内 悦子 向黒沢
- 小島 博行 前野
- 富田 ひとみ 松葉町
- 下坂 和夫 藤里町
- 奈良田 奈美子 田子ヶ沢

おくやみ申しあげます

- 中島 力治(77歳) 川口
- 長崎 吉治(66歳) 栄町
- 佐藤 シカ(72歳) 堂ヶ岱
- 古家 達雄(65歳) 昭和
- 花田 新蔵(49歳) 南田中
- 熊谷 サン(88歳) 前山
- 戸島 千ヨ(87歳) 福住町
- 長岐喜久治(80歳) 中畑